

一本の幹縄に多数の枝縄がついている仕掛けを「はえなわ(延縄)」といいます

はえなわ漁船の特徴

- ・3~5t船(8~12m程)従来の漁船型他にプレジャー船型もある
- ・甲板に縄巻上げ機(ラインホーラー)・縄かご(丸桶)・ボンデンを装備

操業方法

- ・集団での操業が多い(一定の間隔をとって南北に並び同時に操業)
- ・縄入れ方向:陸側からWNNW・沖側からESE(ロラン方向)

トラブルを回避するための注意点

- 潮の上(かみ)を利用すること
- 漁船やボンデンの周りを周回しないこと
- 延縄の構造と操業方法を知ること
- 常に漁船の動きに注意すること
- 漁船や漁具から広く離れて航行すること
- 潮風で延縄は常に移動している
- 漁具の周りでは遊漁をしないこと
- 絡んできた漁具は切らないこと
- 安全上止む無く切った時は結び直すこと
- 夜はボンデンの灯を確認すること
- 時間に関わらず操業している場合もある

はえなわ漁 漁場・漁期 / 操業図

- A B 操業時期・操業時間帯は
- C D 各海域全体での操業形態

6~7月頃

出航:夜中 / 漁場着後に縄入れ / 朝に縄あげ終了
(時間は漁具台による)

6~7月頃

出航:夜中 / 漁場着後に縄入れ
朝に縄あげ終了

6~7月頃

出航:夜中 / 漁場着後に縄入れ / 朝に縄あげ終了 (時間は漁具台による)

7~12月頃

出航:夕方 / 日没前に縄入れ / 早朝に縄あげ終了 (朝縄入れの場合は午後に縄あげ終了)

12~3月頃

出航:夜中 / 日の出とともに縄入れ、数回操業 / 午後には終了

2~5月頃

出航:夕方 / 日没後に縄入れ、数回操業 / 昼頃には終了

9~12月頃

出航:夜中 / 日の出とともに縄入れ、数回操業 / 夕方には終了

